

スコットランド自治政府ヒスロップ大臣の講演会を開催！

7月4日（水）、スコットランド自治政府の文化・観光・対外関係大臣であるフィオナ・ヒスロップ氏が来日し、横浜市立大学で講演会を行います。今回、ヒスロップ大臣には、「International Ambition」をテーマに、英国の中でも独自の文化、行政、教育制度を確立しているスコットランドの地球規模課題に対する方向性や、貿易・文化・外交における対日関係等についてお話しいたします。

横浜市立大学では、昨年に引き続き今夏も、海外フィールドワークで、スコットランドのエディンバラを訪問するゼミもあり、今回の講演会や本学の学生との交流を通し、スコットランドをより身近に感じ、友好・交流を深めていきます。

<講演会 概要> （対象：横浜市立大学生 使用言語：英語・同時通訳なし）

日時：平成30年7月4日（水）14時30分～

会場：横浜市立大学金沢八景キャンパス YCU スクエア1階 ピオニーホール（横浜市金沢区瀬戸 22-2）

テーマ：「International Ambition」

司会：中園 善行 准教授（国際総合科学部 経営科学系 経済学コース）

<プログラムスケジュール>

時間	内容
14:35 - 14:40	開会挨拶・ヒスロップ大臣の紹介
14:40 - 15:00	ヒスロップ大臣講演
15:00 - 15:20	質疑応答・学生との意見交換
15:20 - 16:00	閉会挨拶・ヒスロップ大臣と学生との写真撮影・自由懇談



プロフィール

フィオナ・ヒスロップ 氏（スコットランド自治政府 文化・観光・対外関係大臣）

1964年、スコットランド生まれ。グラスゴー大学卒業。

1999年スコットランド議会議員選出を経て、2016年5月から現職。

（所管業務は、文化・芸術、観光MICE、EU及び国際関係に関する政府間調整など）

2015年7月、2017年2月に続き、今回3回目の来日。横浜は初訪問。

<横浜とスコットランドについて>

横浜とスコットランドとの縁は深く、明治初期、政府の招へいにより来日したスコットランド出身技師のリチャード・ブラントン氏は、横浜公園や日本大通りの設計を行うなど、横浜の近代的な街づくりに大きな足跡を残しました。また横浜市は、来年開催される「ラグビーワールドカップ2019™」において、世界トップクラスの強豪であるスコットランド代表チームの公認キャンプ地に内定しています。

横浜とスコットランドは、今後も相互の交流に力を入れていく方針で、ヒスロップ大臣の横浜訪問の機会に、主に①文化・観光、②海洋産業、③スポーツ、④大学間交流の分野で連携を深めていくことを確認し、7月4日（水）に林市長とヒスロップ大臣との間で、「交流協力共同声明」を行います。

※当日は取材可能です。取材をご希望の方は、前日までに以下のお問合せ先にご連絡下さい。

お問合せ先	
(講演会について) グローバル推進室担当課長	森谷 章子 Tel 045-787-2423
(スコットランドとの交流について) 横浜市国際局国際連携課欧州米州担当課長	長久 伸子 Tel 045-671-4721